

分かりにくい外来語を分かりやすくするための
言葉遣いの工夫についての提案
(中間発表)

平成14年12月25日

国立国語研究所「外来語」委員会

分かりにくい外来語を分かりやすくするための 言葉遣いの工夫についての提案 (中間発表)

外来語・外国語の問題点

近年、片仮名やローマ字で書かれた目新しい外来語・外国語が、公的な役割を担う官庁の白書や広報誌、また、日々の生活と切り離すことのできない新聞・雑誌・テレビなどで数多く使われていると指摘されています。例えば、高齢者の介護や福祉に関する広報誌の記事は、読み手であるお年寄りに配慮した表現を用いることが、本来何よりも大切にされなければならないはずです。多くの人を対象とする新聞・放送等においても、一般になじみの薄い専門用語を不用意に使わないよう十分に注意する必要があります。ところが、外来語・外国語の使用状況を見ると、読み手の分かりやすさに対する配慮よりも、書き手の使いやすさを優先しているように見受けられることがしばしばあります。

伝え合いとしての言葉を

そもそも、どんな言葉を使うのが適切かということは、話し手・書き手の意図、想定される聞き手・読み手、話題、使われる環境など、その時々さまざまな条件によって変わります。同じ内容の話をするにしても、大人に話すときと子供に話すときとは、使う単語、声の調子、話す速さ、文の長さなどが変わってきて当然です。また、同じ大人でも、相手がその話題に通じているかどうかによって、言葉選びや言葉遣いに自ずと違いが出てきます。相手や場面に応じて、適切な言葉遣いが変わることにいつも留意することが大切です。このことは、私達の言葉について国語審議会がかねて提言してきた「平明で、的確で、美しく、豊かであること」を実現する具体的な努力の一つと考えます。

分かりやすい言葉を求めて

外来語には、これまで日本になかった事物や思考を表現する言葉として、日本語をより豊かにするという優れた面もあります。しかしその一方で、むやみに多用すると円滑な伝え合いの障害となる面も出てきます。とりわけ官庁・報道機関など公共性の強い組織が、なじみの薄い外来語を不特定多数の人に向けて使用するとき、そこにさまざまな支障が生じることとなります。これらの組織ではそうした事態を招かないよう、それぞれの指針に基づいて言い換えや注

積などの工夫を施した上で外来語を使用することが大切です。それと同時に、その指針や工夫を公共の財産として共有する方向に進んでいくことが望ましいとも考えます。

「外来語」委員会を設置して検討を重ねてきました

以上のような認識に立って、国立国語研究所では、具体的に問題点を検討するために、本年 8 月に「外来語」委員会を設置しました。委員会は、まず国の省庁の行政白書を、その後は新聞や雑誌など公共性の強いものを対象として、一般に分かりにくい外来語が使われていないか、使われていればそれに換えるべき分かりやすい言葉や表現としてどんなものがあるかについて検討を重ねることにしました。委員会の目指すところは、検討結果に基づいて個々の外来語に対する考え方やその言い換え例を含めた、緩やかな目安・よりどころを具体的に提案することにあります。そして、この委員会の提案がきっかけとなり、より多くの人々がそれぞれの立場で、私達の大切な日本語について考えていく機会が生まれることになればと考えています。

第 1 回の検討対象語について中間発表を行います

「外来語」委員会は、このたび第 1 回の検討対象語について一通り検討を終えることができましたので、計 63 語について暫定的ではありますが具体的な検討結果を一度世の中に示して、広く御意見等をいただくために中間発表を行うことにしました。中間発表の内容については、国立国語研究所のホームページ上に全文を掲載して、メール、書簡、ファクシミリ等によって御意見をいただきたいと思いますと考えています。

検討対象語の選び方

今回の検討対象語は、時間的制約もあり、「外来語」委員会が一般への定着が未だ不十分と判断したものなどを暫定的に選定しています。具体的には国立国語研究所のこれまでの定着度調査で扱った語のうち、最新の国の行政白書にも出現する語を原則として採り上げています。そのため「外来語」委員会では、文化庁国語課の協力を得て、今回検討対象とした外来語について、それらの一般への定着度を知るための世論調査を現在実施中であり、その結果を盛り込んだより妥当性の高いものにしたいと考えています。

今後もさらに検討を重ねていきます

第1回の検討対象語についての最終発表は、平成15年4月に行う予定ですが、中間発表に対していただいた御意見を十分に生かし、世論調査の結果を適切に盛り込んだ内容にしたいと考えています。

また、「外来語」委員会では、今後、第2回以降の対象語についても検討に着手し、半年に1回程度の頻度で中間発表、最終発表を行いたいと考えています。第2回については、中間発表を来年6月、最終発表を10月頃に予定しています。

第1回中間発表で取り上げた語

アイドルリングストップ	コンテンツ
アウトソーシング	サーベイランス
アクションプログラム	シーズ
アクセス（情報・市場などの場合）	シェア
アクセス（交通などの場合）	シフト
アジェンダ	シンクタンク
アセスメント	スキーム
アナリスト	スクリーニング
アメニティー	スケールメリット
インキュベーション	ストックヤード
インサイダー	セカンドオピニオン
インターンシップ	セキュリティ
インタラクティブ	ゼロエミッション
インフォームド・コンセント	タイムラグ
オピニオンリーダー	デイサービス
オンデマンド	デリバリー
ガイドライン	トレーサビリティ
コミット	ノンステップバス
コミットメント	ハーモナイゼーション
コンセンサス	バックオフィス
コンソーシアム	バリアフリー

フィルタリング

フェローシップ

フォローアップ

プレゼンテーション

フレックスタイム

プロトタイプ

ポジティブ

マスタープラン

メンタルヘルス

モータリゼーション

モチベーション

モラトリアム

ユニバーサルサービス

ライフサイクル

ライフライン

リーフレット

リニューアル

ワーキンググループ

インパクト

ケア

ノーマライゼーション

キャピタルゲイン

資料の見方について

1. 以下の資料では、対象とした外来語を、五十音順に掲げる。
2. 語ごとに提示する情報の構成は、次の通りである。
 - ・ 外来語
 - ・ **意味**
 - ・ **言い換え語例**
 - ・ **説明付与例**
 - ・ **用例**
 - ・ **注記**
3. 外来語 には、見出し語形を掲げる。但し、ここでの表記は便宜的なものであり、それ以外の表記よりも望ましいとの判断を示すものではない。
4. **意味**では、その外来語の基本的な意味を記述する。
5. **言い換え語例**には、その外来語を言い換える場合に、言い換え語として適当であるとの意見が多かった例を示す。
6. **説明付与例**には、その外来語に説明を加える場合に、付け加える説明として適当であるとの意見が多かった例を示す。
7. **用例**には、その外来語の実際の使用例を示す。白書での使用例を原則とするが、新聞の使用例によった場合もある。
8. **注記**では、その外来語の言い換えや説明付与に関連する情報、あるいはその外来語の使用に関する参考情報等を、必要に応じて補足する。
9. なお、本資料の末尾には、「外来語」委員会が個々の外来語について検討を重ねるなかで明らかになった点を、現段階における論点整理のために補足として付した。いずれも委員会において今後さらに検討すべき課題である。

分かりにくい外来語の言い換え語例，説明付与例

アイドリングストップ

意味 信号待ちなどで止まっている間，車のエンジンを切ること。

言い換え語例 停車時エンジン停止。

説明付与例 アイドリングストップ（停車時エンジン停止）。アイドリングストップ（停車時にエンジンを切ること）。

用例 アイドリングストップを全車に徹底するなどの対策を（新聞）

注記 標語や宣伝の言葉などによく見かけるが，車を運転しない人には「アイドリング」は分かりにくい。説明を付けるなどの工夫がほしい。

アウトソーシング

意味 経営の効率化などのために，業務の一部を，他の組織などに委託すること。

言い換え語例 外部委託。業務委託。

説明付与例 アウトソーシング（業務の外部委託）。

用例 民間企業へのアウトソーシング等のコスト削減の取組を（白書）

注記 まれに，部品などを外部に調達する意味で用いられることがある。この場合は，「外部調達」という言い換え語が適切になる。

アクションプログラム

意味 基本的な理念にもとづいて，実行に移すための具体的な計画や手順。

言い換え語例 実行計画。行動計画。実行手順。

説明付与例 アクションプログラム（実行の手順）。

用例 基本計画の策定された地域においてアクションプログラムを策定し（白書）

注記 「マスタープラン（基本理念・基本計画）」と対になって使われる場合も多い。

アクセス [情報・市場などの場合]

意味 いつでも利用できる状態にある情報や物に対して、近づいて利用すること。

言い換え語例 接続(する)。接近(する)。利用(する)。参入(する)。

説明付与例 アクセス(接続)。アクセス(参入)。

用例 ネットワークへの多様なアクセスが可能となるとともに(白書) / 消費者がアクセスしやすい住宅市場の(白書)

注記 情報に関しては「接続」「接近」または「利用」、市場の場合は「参入」など、文脈に応じて、言い換え語や説明付与の語を使い分けるのが望ましい。コンピュータにかかわる分野では、接続して利用することを一語で言い表せる「アクセス」が、法律名及び条文でも使われており、定着しつつある。

アクセス [交通などの場合]

意味 行きたい場所にいつでも行けるように、交通の便が整備されていること。また、その手段。

言い換え語例 交通の便。交通手段。到達手段。

説明付与例 アクセス(交通利便性)。

用例 九州・山口県各地とのアクセスが飛躍的に向上することによる(新聞) / 出入口、園路等のアクセスに係る施設に限らず(白書)

注記 「山岳地帯でアクセスが困難」などの例は、「～で交通が不便」「～で行きにくい」などと、表現を換えるのが望ましい。

アジェンダ

意味 会議や交渉の場などで、取り組まれるべき議題。またその決定にもとづいて、遂行されるべき課題や計画。

言い換え語例 議題。課題。行動計画。

説明付与例 アジェンダ（行動計画）。

用例 閣僚宣言には、投資ルール、環境といった 21 世紀の諸課題に対応していくための幅広いアジェンダについて検討していくことが盛り込まれており（白書）

注記 国際的な取り決めや施策の名称として用いられるものを引用する場合なども、「アジェンダ（行動計画）」のように、説明を付けることが望まれる。

アセスメント

意味 事業や開発を進める場合などに、周囲の状況や与える影響について、総合的に査定し評価すること。（1）事前に影響を予測する場合と、（2）事後に見直しを図る場合とがある。

言い換え語例 査定。影響査定。影響評価。

説明付与例 アセスメント（影響査定）。アセスメント（事前影響評価）。

用例 （1）地元は環境に配慮した空港づくりを求め、陸上ルートの実機テストや、アセスメントを慎重にやった。（新聞） / （2）全国の都道府県と政令指定都市では今年度から、国の要請を受けて、「時のアセスメント」をスタートさせた。（新聞）

注記 「環境アセスメント」など、定着しつつある言い方もあるが、（1）は「影響査定」「影響評価」で言い換えられる。（2）の場合によく見かける「時のアセスメント」は、分かりにくい表現。これを使う場合も、「時代の変化を踏まえた施策の再評価（時のアセスメント）」、「事業再評価（時のアセスメント）」などといった、説明付与の形が望ましい。

アナリスト

意味 ある専門分野の情勢を分析する人。状況を判断し、解説や助言などのサービスを行うこともある。

言い換え語例 分析家。分析専門家。

説明付与例 アナリスト（専門的な分析を行う人）。

用例 経営者や官僚、アナリスト、マスコミ、評論家などを一気に切り捨てた。
（新聞）

注記 「証券アナリスト」など職業名や資格名として定着が進んでいる語もある。

アメニティー

意味 居住空間における、快適さ、居心地のよさ。住み心地のよさ。また、そのような感覚を与えてくれるもの。

言い換え語例 快適性。快適さ。心地よさ。

説明付与例 アメニティー（生活環境の快適さ）。

用例 景観が優れ、豊かで住みよい、アメニティに満ちた農村としていくため
（白書）

注記 ホテルなどで、歯ブラシやシャンプーなどのセットを指して「アメニティーセット」ということがある。

インキュベーション

意味 新たに参入した企業や起業家を援助し、育成すること。また、そのための機関や施設。

言い換え語例 起業家育成。起業家支援。新規事業育成。新規事業支援。

説明付与例 インキュベーション（起業を支援すること）。

用例 これは、我が国のインキュベーションの歴史が浅いことや、創業を支援する人材や機関の層が薄いことを背景としているものと考えられる。（白書）

注記 行政施設としての「インキュベーション施設」などには、「インキュベーション施設（起業を支援する施設）」などの説明を付与するのが望ましい。

インサイダー

意味 集団の内部の人間。その集団の事情によく通じている人。

言い換え語例 内部者。部内者。内部。

説明付与例 インサイダー（内部の人間）。

用例 アウトサイダーだと日本では情報の30%も入ってこない。インサイダーになると、100%入ってくる。（新聞）

注記 証券取引の分野では「インサイダー取引」という言い方は定着しているが、分かりにくいと考えられる場合は、「インサイダー取引（情報公開前に社内の人間によって株を売買すること）」のように、説明を付けて使うのが望ましい。「インサイダー規制」「インサイダー情報」は、「内部規制」「内部情報」などと言い換えたい。

インターンシップ

意味 学生が、就業前に、自らの専門や進路に生かす目的で、企業などで仕事を体験しながら研修を行うこと。

言い換え語例 就業体験。就業実習。

説明付与例 インターンシップ（就業体験）。インターンシップ（就業実習）。

用例 国際協力事業への参加をめざす若者にインターンシップや研修、研究に携わる機会を提供し（白書）

注記 ある程度定着の進んでいる語だと考えられるが、分かりにくいと思われる場合は、言い換えや説明付与を工夫したい。その仕事に職業としてつくつもりで体験する場合は「就業実習」、その可能性のない場合は「就業体験」といったように、内容に応じて使い分けるのが望ましい。

インタラクティブ

意味 情報が、送り手から受け手への一方通行でなく、双方向にやりとりされること。また、その状態。

言い換え語例 双方向の。双方向性。双方向的。

説明付与例 インタラクティブ（情報が双方向にやり取りできる状態）。インタラクティブ（双方向的）。

用例 放送局と視聴者の関係も、よりインタラクティブにコミュニケーションしていると感じています。（新聞）

注記 「平成13年度国語に関する世論調査」によれば、「インタラクティブ」の意味を理解している人は10%以下であり、一般向けには使わないのが望ましい。

インフォームド・コンセント

意味 治療の前に、医師は、病状や治療の内容につき十分に説明を行い、患者は、それを納得して同意すること。

言い換え語例 納得診療。

説明付与例 インフォームド・コンセント（医者の十分な説明と患者の同意）。インフォームド・コンセント（医療行為をめぐる十分な説明と患者の同意）。

用例 医療の受益者である患者の人権が尊重されねばならず自己決定のためのインフォームド・コンセントの重要性が認められている。（白書）

注記 原語の概念を過不足なく言い換えられる語はないが、患者の視点に立って言い換えることが望ましい場合は、「納得診療」が分かりやすい。概念の正確さを期す場合は、「インフォームド・コンセント」を、説明を付与して用いることが望まれる。

オピニオンリーダー

意味 ジャーナリスト・評論家など、その発言が世論の形成に影響をもつような人物。

言い換え語例 世論先導者。

説明付与例 オピニオンリーダー（世論形成の指導者）。

用例 アジア太平洋地域諸国のオピニオンリーダーの招へいなど（白書）

オンデマンド

意味 一方的に供給するのではなく、利用者の注文（要求・請求）に応じて個別にサービスを提供すること。

言い換え語例 注文対応。受注対応。

説明付与例 オンデマンド（注文に応じておこなうサービス形態）。

用例 インターネットのようなオン・デマンド型の送信行為を（白書）

注記 「オンデマンド出版」は「オンデマンド（注文対応）出版」などとすれば分かりやすい。

ガイドライン

意味 指導や施策の基本となる方針。また、その方針によって実施・運用する際の手引となるもの。

言い換え語例 指針。指標。手引。

説明付与例 ガイドライン（運用指針）。

用例 大綱的指針は国費が投入された研究開発活動の評価を実施する上でのガイドラインとなるものであり（白書）

注記 「日米防衛指針（ガイドライン）」などの例もあり、「ガイドライン（指針）」もしくは「指針（ガイドライン）」などと、用いる方法もある。

コミット

意味 責任ある態度で、深くかかわること。また、それを明言し、約束すること。

言い換え語例 関与（する）。関わり（関わる）。参与（する）。約束（する）。確約（する）。

説明付与例 コミット（深く関わる）。コミット（確約する）。

用例 文学者も社会にコミットしなくてはいけない（新聞）／国際的に行動を推進していくことなどがコミットされました。（白書）／通産相としての約束、日本政府のコミットではない。（新聞）

注記 内容により言い換え語を使い分ける工夫がほしい。「コミットする」の形で用いるのは、意味をあいまいにする危険があり、特に注意が必要である。

コミットメント

意味 責任ある態度で、深くかかわること。またそれを明言し、約束すること。

言い換え語例 関与。約束。確約。

説明付与例 コミットメント（深く関与すること）。コミットメント（確約）。

用例 アフリカに対するわが国の揺るぎないコミットメントを（白書）／すべてのコミットメントは忠実に遵守されなければならない。（白書）

注記 専門性の高い複合語は、「コミットメントライン（融資枠）」などと、説明を付与するのが望ましい。

コンセンサス

意味 意見が一致すること。合意。

言い換え語例 合意。

説明付与例 コンセンサス（意見の一致）。

用例 社会的なコンセンサスの形成に努めること（白書）

コンソーシアム

意味 複数の企業，団体などがひとつの目的のために集まり形成された，大規模な団体。

言い換え語例 共同事業体。事業連合（体）。

説明付与例 コンソーシアム（企業連合）。

用例 11の国と地域からなる国際コンソーシアムで（白書）

注記 企業同士が連合した団体の場合は「コンソーシアム（企業連合）」，大規模な融資を目的とした団体の場合は「コンソーシアム（融資団）」とするなど，適宜，内容に見合った説明を付与して使用することが望ましい。

コンテンツ

意味 インターネットや電子媒体における情報の内容。デジタル放送における番組の内容。

言い換え語例 情報内容。内容。番組。

説明付与例 コンテンツ（情報内容）。

用例 大容量で魅力あるコンテンツの流通が（白書）/CATVを通じて約二十四万世帯にブロードバンド用コンテンツを配信している（新聞）

注記 情報のデジタル化に伴い，よく使われるようになってきていると思われるが，分野によって指示するものが異なる。例えば，インターネットや電子媒体では「情報内容」，デジタル放送では「番組（内容）」などと，文脈によって言い換え語を選択するか，そうした説明を付与するのがよい。デジタル以外のものに「コンテンツ」を使うことは避けるのが望ましい。

サーベイランス

意味 継続的な調査によって，事態の成り行きをきびしく見張ること。

言い換え語例 監視。調査監視。

説明付与例 サーベイランス（調査監視）。

用例 国際収支危機を未然に防ぐための加盟国のマクロ・為替政策に関するサーベイランス（監視）（白書）

注記 経済や健康（特に感染症）に関して使用されているが，分かりにくい。「監視」で言い換え可能と思われるが，一般語の「監視」と区別したい場合は「調査監視」と言い換えるのが望ましい。

シーズ

意味 新しい技術，また，それを生み出す可能性を秘めたもの。

言い換え語例 種子。萌芽。新技術。

説明付与例 シーズ（将来に発展の可能性を感じさせる新技術）。シーズ（企業が提供する新技術）。

用例 新事業のシーズやスポンサー探しを迫られている（新聞）／大企業のニーズとベンチャー企業のシーズの情報を交換する（新聞）

注記 研究，技術，事業のシーズの場合は「（研究・技術・事業の）種子」もしくは「（研究・技術・事業の）萌芽」などと言い換え可能。企業のシーズなどの場合は「新技術」との言い換えが可能。なお，一般によく使われる「ニーズ」と語形と意味を対応づけて使われることも多いが，その場合は言い換え語を（ ）内に示すなど，説明付与の形で用いたい。

シェア

意味 （１）商品などが市場に占める割合。（２）ひとつのものを分け合うこと。

言い換え語例 （１）占有率。市場占有率。（２）分かち合い（分かち合う）、分け合い（分け合う）、共有（する）。

説明付与例 シェア（市場占有率）。シェア（共有）。

用例 （１）公共事業全体における道路整備費のシェアは減少（白書）／（２）生きることの喜び，音楽の喜びをシェアしてもらいに（新聞）

注記 （１）輸入品の市場シェアの場合は「輸入浸透率」と言い換えも可能。複合語で使用する場合は，「トップシェア（最高市場占有率）」「トップシェア商品（最も市場占有率の高い商品）」など，説明付与の形を用いたい。（２）複合語で使用する場合は「ワークシェアリング（仕事の分かち合い）」のように説明を付けて用いるのが望ましい。

シフト

意味 位置や配置がそれまでと変わること。

言い換え語例 移行(する)、切り替え(る)、転換(する)。

説明付与例 シフト(切り替え)、シフト(転換)。

用例 早い時期からサービス産業へのシフトが進んでいた(白書) / 生命保険や流動性の高い通貨性預貯金へシフトするという傾向がみられる(白書)

注記 「切り替え」をいう車の「ギアシフト」「シフトレバー」、や計算機の「シフトキー」、野球で「守備位置の変更」をいう「バントシフト」、 「交替勤務制」をいう「勤務シフト」などはそのまま使うことがあってもよいと思われるが、その分野に疎い人のために、可能であれば言い換えや説明付与があるのが望ましい。複合語で使用する場合は、「パラダイムシフト(枠組みの転換)」「モジュールシフト(輸送手段の転換)」など、説明付与の形を用いたい。

シンクタンク

意味 政治・経済・社会・科学技術などさまざまな問題に対して調査・分析を行い、問題解決のための提言などを行う研究所。また、そこに属する研究者集団。

言い換え語例 研究機関。調査機関。調査・研究機関。

説明付与例 シンクタンク(調査・研究・立案などを行う組織)

用例 大学・シンクタンクを含め広く民間部門の人材の活用を図りつつ(白書)

注記 「頭脳集団」とも言い換えられるが、具体的にはそれから成る「組織」「機関」のことが多く、内容に即して「研究機関」「調査機関」などとしたほうが分かりやすいと思われる。

スキーム

意味 体系だった公的な枠組み。よく練られた公的な計画。

言い換え語例 枠組み。計画。

説明付与例 スキーム（枠組み）。スキーム（計画）。

用例 中小企業向けの貸出債権を証券化するスキームを既に導入している（白書）

注記 官庁や自治体の用語によく見かけるが、「平成10年度国語に関する世論調査」では、意味を理解している人は数%に過ぎないほど、分かりにくい言葉で、一般向けの場面ではそのままの使用は避けたい。

スクリーニング

意味 ふるいにかけて条件に合うものを選び出すこと。

言い換え語例 ふるい分け。選別。

説明付与例 スクリーニング（選別検査）。スクリーニング（選別審査）。

用例 精度の高い検査法で血液をスクリーニングしていたら防げた（新聞） / 省庁課長等に登用する段階においては、客観的かつ多面的なスクリーニングを行い（新聞）

注記 医学的な検査をするような場合は「検査」を、資格を審査するような場合は「審査」を補足して、言い換えや説明付与を行うとよい。説明付与例は、「選別して検査（審査）すること」のように、句の形にしてもよい。また、「検査」「審査」の内容を具体的に付加した言い換え方法も考えられる。

スケールメリット

意味 規模を大きくすることで得られる利益。

言い換え語例 規模効果。規模拡大効果。

説明付与例 スケールメリット（規模を大きくすることで得られる効果）。

用例 市町村合併によるスケールメリットを図るのが望ましい（新聞）

注記 和製語。

ストックヤード

意味 分別ごみを一時保管するための施設。

言い換え語例 分別ごみ(の)一時保管所。

説明付与例 スtockヤード(分別ごみの一時保管所)。

用例 廃棄物海面処分場, スtockヤードの整備等(白書) / 同市諏訪の市立資源化センターのストックヤードには一時, 百トンを超す古着や古布であふれる事態が起きていた(新聞)

注記 分別ごみの一時保管所を指すのに, スtockヤードという語は分かりにくく, 一般向けには使わないほうが望ましい。

セカンドオピニオン

意味 自分の受けている診断や治療について, 担当医以外の別の医師に意見を求めること。また, その意見。

言い換え語例 別の医師の意見。

説明付与例 セカンドオピニオン(主治医以外の医師の意見)。セカンドオピニオン(別の医師に意見を聞く)。

用例 患者が別の医師から意見を聞く「セカンドオピニオン」については(新聞)

注記 「インフォームド・コンセント」とともに, 医療における患者側の新たな権利として取り入れられた大切な概念である。適切な言い換えを工夫するか, 説明を付与することで, 概念の普及に役立てたい。

セキュリティー

意味 安全を守ること。またそのための設備や対策。

言い換え語例 安全性。安全対策。保安。

説明付与例 セキュリティー(安全性)。

用例 情報セキュリティの確保(白書) / ハイテク犯罪対策・セキュリティ対策(白書) / セキュリティー事業を展開している(新聞)

注記 文脈に応じて, 言い換え語や説明の方法は工夫する必要がある。例えば, 複合語の場合「サイバーセキュリティ(インターネット社会の安全性)」「ホームセキュリティ(家庭向け防犯)」「ナショナル・セキュリティ(国家安全保障)」など。

ゼロエミッション

意味 生産過程や流通，消費過程などで排出される廃棄物（排水，排熱，排気ガスなども）を再利用して，最終的な排出物（不用物）を出さないようにする仕組み。

言い換え語例 廃棄物ゼロ。廃棄物完全再利用。

説明付与例 ゼロエミッション（廃棄物を完全に再資源化すること）。ゼロエミッション（資源を使い回し，廃棄物を出さない）。

用例 公共工事におけるゼロエミッション推進（白書）

注記 概念を正確に伝えたい場合は，単に廃棄物を「ゼロ」にする「出さない」という説明だけでなく，「再利用」の概念を盛り込むのが望ましい。

タイムラグ

意味 密接にかかわるふたつの間に生じた時間のずれ。

言い換え語例 時間差。時間のずれ。

説明付与例 タイムラグ（時間のずれ）。

用例 廃業率と実質 GDP 成長率との分析はタイムラグを置かず，同時期のデータで行っている。（白書）

注記 「タイムラグ」の使用例には，単に「時間」と言い換えても問題ないものも見受けられる。

デイサービス

意味 施設において入浴や食事などの介護サービスを，日帰りで提供すること。

言い換え語例 日帰り介護。

説明付与例 デイサービス（日帰り介護）。

用例 毎週月曜日に同センターでデイサービスを受けるようになって（新聞）

注記 法令にも使われており，そのまま使うことも考えられるが，サービスを受ける当事者が，分かりやすく使いやすいように配慮したい。和製語。

デリバリー

意味 必要なものを必要とする人などに届けること。

言い換え語例 配達。宅配。

説明付与例 デリバリー（配達）。

用例 ピザの宅配などのデリバリーサービス（新聞）

注記 白書には、禁制品をあえて押収せずに、取引に關与した者をつきとめる捜査手法をいう、「コントロールド・デリバリー」の例が見られる。この場合は、「泳がせ捜査」などの言い換え語が考えられる。

トレーサビリティ

意味 食品などの、生産から加工、販売にいたる過程を、さかのぼって追跡できる仕組み。

言い換え語例 追跡可能性。

説明付与例 トレーサビリティ（生産・流通過程の追跡）。トレーサビリティ（生産履歴の追跡）。

用例 今会議の焦点の一つ「トレーサビリティ（追跡可能性）」を巡る議論。遺伝子組み換え作物が栽培、加工され食品として消費者の口に入るまでのルートをたどるシステムの必要性について、欧州諸国が「貿易の円滑化のために必要」と提案した（新聞）

注記 最近、牛海綿状脳症（BSE）や遺伝子組み換え食品に関して用いられるはじめた語。きわめて分かりにくい言葉であり、そのままの使用は避けたい。

ノンステップバス

意味 通常のバスよりも、出入り口が低い位置にあるバス。

言い換え語例 低床バス。無段差バス。

説明付与例 ノンステップバス（出入り口が低い位置にあるバス）。

用例 障害のある人等交通弱者に配慮したノンステップバス、リフト付きバス等の導入の促進（白書）

注記 出入り口の位置の高低やスロープ付きか否かで、「ワンステップバス」「スロープ付き低床バス」などと区別する場合もある。ここでは、通常のバスよりも出入り口が低い位置にあるものの総称として、「ノンステップバス」という言葉が使われる場合の、言い換えや説明付与の方法を示した。和製語。

ハーモナイゼーション

意味 経済活動を円滑化させるために、税制のゆがみを取り除くこと。また、その状態。

言い換え語例 調和。協調。

説明付与例 ハーモナイゼーション（税率の高いものほど引き下げ率を大きくする関税引き下げ方式）。

用例 内外諸制度のバリアフリー化やハーモナイゼーションを進めてきた。（白書）

注記 経済用語としての「ハーモナイゼーション」を使う場合は、説明を付けるなどの工夫をする。それ以外の「調和」「協調」で言い換えられるような文脈においては、言い換えるのが望ましい。

バックオフィス

意味 金融機関などにおいて、顧客に対応しない業務部門。事務や管理業務を行う。

言い換え語例 事務部門。管理部門。事務管理部門。

説明付与例 バックオフィス（後方で事務や管理業務を行う部門）。

用例 特に、事務・管理部門などのいわゆるバックオフィスに浸透し（白書）

バリアフリー

意味 体の不自由な人でも、生活に不自由がないよう障壁や障害を取り除くこと、あるいはその状態。

言い換え語例 障壁除去。

説明付与例 バリアフリー（障害者や高齢者の生活に不便な障害を取り除く）。バリアフリー（障壁をなくすこと）。バリアフリー（障壁のない）。

用例 コンピュータの普及は、障害者の生活をバリアフリーにした。（新聞）

注記 概念の浸透とともに定着が進みつつある語であり、言い換えてしまふとかえって分かりにくくなる面もある。高齢者のことを考えると説明を付与しての使用が望ましい。

フィルタリング

意味 インターネット上の有害な情報を選別して遮断すること。

言い換え語例 選別。情報選別。

説明付与例 フィルタリング（有害情報の選別）。

用例 受信者が設定・選択した条件による多様なフィルタリング機能の提供（白書）

フェローシップ

意味 研究を支援するために、おもに若手の研究者に与えられる奨学金。また、その地位など。

言い換え語例 研究奨学金。研究奨励制度。

説明付与例 フェローシップ（研究者の研究を支援する制度）。

用例 大学等で研究を行う優れた若手研究者を対象としたフェローシップ制度（白書）

注記 奨学金・奨励金をさすことと、制度をさすこととがあり、文脈に応じて適切な言い換えや説明を付与して用いることが望まれる。

フォローアップ

意味 ある事柄について、その実施状況や効果を調査・確認すること。またその結果に基づいて補足や改善を行うこと。

言い換え語例 追跡調査（する）。補足改善（する）。

説明付与例 フォローアップ（実施状況を追跡調査し、補足改善すること）。

用例 基本計画に掲げる施策の実施状況を、関係府省の協力の下、フォローアップし（白書）

注記 調査確認に重点のある場合と、補足改善に重点がある場合がある。文脈に応じて適切な言い換えを選択したい。

プレゼンテーション

意味 企画・発案を、他の人に分かるように提示・説明すること。

言い換え語例 発表。提示。企画提示。提案説明。

説明付与例 プレゼンテーション（分かりやすく発表し、説明すること）。

用例 外国直接投資に関連する問題についての技術的なプレゼンテーションを行うべく、（白書）

注記 「プレゼン」という略語もあり、よく使われる言葉だが、分かりにくさは残る。内容に応じて適切な言い換えや説明付与が望まれる。

フレックスタイム

意味 始業時間と就業時間とを従業員が自由に選択できる就業方法。

言い換え語例 時差勤務。自由勤務時間。

説明付与例 フレックスタイム（出退勤時刻を自分で選べる勤務体制）。

用例 フレックスタイム制度や短時間勤務制度等を充実していくことが（白書）

注記 サラリーマン以外には分かりにくい言葉だが、「フレックスタイム」になじみの深い人にとっては、言い換えることで誤解が生じるおそれもある。勤務体制の実情に即して、言い換えや説明を付けるなどの工夫がほしい。

プロトタイプ

意味 後に続くものや他の同類のもの、大もとになる型や特質。製品開発における試作モデルや、分類の特徴を典型的に表すものについて言われることが多い。

言い換え語例 原型。試作モデル。典型。

説明付与例 プロトタイプ（試作モデル）。プロトタイプ（典型）。

用例 ソニーが作ったロボット犬のプロトタイプは（新聞）/「いき」とは、成熟文化状況における「美意識」のプロトタイプであり、（新聞）

注記 「原型」で分かりにくい場合は、製品開発では「試作モデル」、分類の特徴には「典型」などと、言い換え語の使い分けを工夫したい。

ポジティブ

意味 態度や考え方が積極的であるようす。

言い換え語例 積極的。前向き。肯定的。

説明付与例 ポジティブ（積極的）。ポジティブ（前向き）。

用例 グローバル化の大波に、日本がいかにポジティブな行動を起こすべきか訴えた。（新聞）

注記 よく使われている言葉だが、言い換え語として示した和語・漢語で十分に表せる概念であり、内容にあわせて言い換えを工夫したい。

マスタープラン

意味 全体の基本となる計画。

言い換え語例 基本計画。

説明付与例 マスタープラン（基本計画）。

用例 市町村が策定する緑に関する総合的なマスタープランである「緑の基本計画」（都市緑地保全法に基づく法定計画）に基づき（白書）

注記 「基本計画」で十分言い換え可能で、外来語使用の必要性は低いと考えられる。

メンタルヘルス

意味 ストレスなどによって冒されないようにする、心の健康・健全さ。

言い換え語例 心の健康。

説明付与例 メンタルヘルス（心の健全さ）。

用例 まるで勉強することが子供たちのメンタルヘルスに悪影響を及ぼすかのように語られることがある（新聞）

注記 「メンタルヘルスケア」は、例えば「心の健康づくり」「心の健康の維持向上」などの言い換えや説明付与が考えられる。

モータリゼーション

意味 自動車が生活に欠かせないものとして広く大衆に広まる現象。

言い換え語例 車社会。車社会化。

説明付与例 モータリゼーション（車の普及・大衆化）。

用例 乗合バスは、モータリゼーションの進展への対応の遅れ、商業を取り巻く環境変化等を背景に空洞化が進行しており（白書）

注記 数十年前から使われているが、分かりにくい言葉であり、外来語をそのままの形で使う必要性も低いと考えられる。

モチベーション

意味 ものごとに取り組む際に、内側から発する動機付け。やる気。

言い換え語例 動機付け。やる気。意欲。

説明付与例 モチベーション（動機付け）。モチベーション（やる気）。

用例 受講者のモチベーションの維持のためには、研修担当者等による受講状況のチェックや集合訓練との組み合わせなどの工夫が必要となってくる（白書）

注記 サッカーなどのスポーツ選手が使うことの多い言葉であるが、「動機付け」「やる気」などで表せる概念である。

モラトリアム

意味 （１）社会的非常事態において、ある期間、債務などの支払いに猶予を与える法的措置。（２）世界的規模で問題とされるような事柄を一時的に停止や延期すること。

言い換え語例 （１）支払猶予。債務支払い猶予。（２）一時停止。

説明付与例 （１）モラトリアム（債務などの支払いに猶予を与えること）。（２）モラトリアム（一時的に停止や延期すること）。

用例 （１）電子商取引に関する関税不賦課のモラトリアムの第５回 WTO 閣僚会議までの延長に合意（白書） / （２）核実験モラトリアムの重要性（白書）

注記 専門性の高い言葉なので、これを一般向けに使わざるを得ない場合は、丁寧な説明を付与するなどの工夫が必要。このほか、若者が社会人になるべき時期になっても、それを先延ばしにすることを意味する言い方があり、よく使われている。

ユニバーサルサービス

意味 だれもが均一の料金で公平に受けられる，通信などにかかわるサービス。

言い換え語例 均一料金サービス。均一料金事業。

説明付与例 ユニバーサルサービス（全国均一料金事業）。ユニバーサルサービス（通信などにおける全国均一料金サービス）。

用例 東・西 NTT は，各社の内部における地域間補てんだけでユニバーサルサービスを引き続き維持することが（白書）

注記 ユニバーサルが均一料金を指していることがわかるように言い換えるか，説明を付さなければ，分かりにくい。和製語。

ライフサイクル

意味 （１）人間を含めて，生物が生まれてから死ぬまでの過程。（２）製品などが生産されてから廃棄されるまでの過程。

言い換え語例 （１）生涯過程。一生涯。（２）循環過程。

説明付与例 （１）ライフサイクル（一生の過程）。（２）ライフサイクル（製造から廃棄までの過程）

用例 （１）各人が，年齢とともに上昇する過去の賃金パターンを前提に将来の収入見通しを立て，ライフサイクルを通じた消費を計画していた場合（白書）
／（２）製品のライフサイクルの考え方を導入したことが（新聞）

注記 （２）は，廃棄の後に回収，再利用までを含めて言う場合もある。（２）の複合語「ライフサイクル・アセスメント（LCA）」は，製品が原料採取から製造，使用，廃棄までの間，環境にどの程度の影響を与えるかを評価すること。

ライフライン

意味 生きるために不可欠な物資（特に，水道・ガス・電気など）の補給路。

言い換え語例 生命線。

説明付与例 ライフライン（生活必需物資補給路）。

用例 阪神・淡路大震災においては，建築物の倒壊，（略）通信網や交通網の混乱，ライフラインの機能停止など大規模な被害が生じ（白書）

注記 「生命線」などの言い換え語で，かえって分かりにくくなる場合は，外来語に説明を付与する形で使うのが望ましい。

リーフレット

意味 宣伝や案内などの目的で作られ配布される一枚刷りの印刷物。折りたたんだものを指すことも多い。小冊子を指すこともある。

言い換え語例 手引。案内。説明書。ちらし。

説明付与例 リーフレット（手引）。リーフレット（ちらし）。

用例 ポスター及びリーフレットを作成・配布するとともに（白書）

注記 形状や記載内容からそれに対応する言い換え語を使い分けたい。

リニューアル

意味 新しくすること。特に施設や商品などについて全面的に改新すること。

言い換え語例 改装（する）。改修（する）。刷新（する）。

説明付与例 リニューアル（改装）。リニューアル（改修）。リニューアル（刷新）。

用例 空家発生時に住宅性能等の向上を図る「リニューアル事業」（白書） / 5月10日発売号からリニューアルされて新登場（新聞）

注記 店舗などの場合は「改装」、住宅などは「改修」、商品などには「刷新」と使い分けるのがよい。

ワーキンググループ

意味 具体的任務を帯び、実務的な作業ないし調査をする集まり。委員会などの下に作られる場合が多い。

言い換え語例 作業部会。

説明付与例 ワーキンググループ（作業部会）。

用例 地域間及び地方公共団体間の格差，個人間及び国際的な格差については，それぞれ実務レベルのワーキンググループにおいて集中的に検討が行われた。（白書）

補足：分かりやすい表現のための留意事項

分かりにくい外来語について、分かりやすく表現するための、「分かりにくい外来語の言い換え語例，説明付与例」を、語ごとにまとめた。分かりやすく表現する際に留意すべき事柄には、今回取り上げた外来語の全体を通じて、指摘できるものもある。そのうちのいくつかを以下に述べ、「分かりにくい外来語の言い換え語例，説明付与例」の補足とする。

(1) 世代による理解度の違いに配慮を

日本語として十分に定着している外来語（「ガス」「インターネット」など）は、言い換えたり説明を付与する必要はないが、定着度の高い外来語でも高齢者には分かりにくいものも多い。そうした場合は、言い換えや説明付与の工夫がほしい。

例：インパクト

意味 受け手に与える強い影響。衝撃。

言い換え語例 衝撃。影響。

説明付与例 インパクト（強い影響）。

用例 超鉄鋼材料の新しい性能とその二次加工技術の開発は、（中略）実用化されれば社会経済に大きなインパクトを与えるものとして期待が寄せられています。（白書）

注記 「平成13年度国語に関する世論調査」によると、50歳代以下では、8割以上の人が意味の分かる言葉と答えており、定着度は比較的高い外来語であり、ことさら言い換える必要のない場合もある。しかし、60歳以上では、意味の分かる人は、約5割に下がる。読み手の中に高齢者が想定される場合や、不特定多数の人を相手にする場合は特に、「インパクト」をそのまま使うのは避けたほうが望ましい。

世代による定着度の違いは，世論調査によって詳しく調査し，最終報告では，その結果を生かす予定である。

(2) 場面により言い換え語の選択の工夫を

様々な分野で用いられている外来語は，使用場面によって意味合いを変える場合がある。そうした意味の広い外来語は，場面によって言い換え語を使い分けることが必要である。

例：ケア

意味 良好な状態を保つための手当，手助け。そのまま放っておくことができないものに対する手当。

言い換え語例 介護。看護。手当。手入れ。

説明付与例 ケア（介護）。ケア（看護）。ケア（手当）。ケア（手入れ）。

用例 家庭でケアできない障害児の医療には，保険は認められない。（新聞）
／患者さんにとって，看護婦さんの笑顔や細かなケアが何よりの支えであり，
（新聞）／髪をケアしながら，自然なツヤを与える（新聞）

注記 福祉の分野では「介護」，医療の分野では「看護」，身だしなみや品物の場合には「手当」「手入れ」などと，文脈によって言い換え語を替える工夫が必要である。「ケア」が使用される範囲は広く，定着も進んでいると考えられるが，意味が広がりすぎることで，軽くあいまいな言葉に感じられることもある。正確な伝え合いを求める場合は，特に，場面に応じた言い換えを行うのが望ましい。

他に，「アクセス」「インターンシップ」「コンテンツ」など，場面による工夫が必要なものは多い。

(3) 現代社会に大切な概念の定着に役立つ工夫を

なじみの薄い概念であっても，現代社会で求められているものについては，その概念の定着に役立つような表現を工夫したい。

例：ノーマライゼーション

意味 高齢者や障害者などが，健常者と同様の暮らしができるようにしようとする思想や運動。

説明付与例 ノーマライゼーション（健常者と障害者とが分け隔てなく生活できる社会），など。

用例 障害のある人もない人も，互いに支えあい，生き生きと生活し活動できるようにするとの「ノーマライゼーション」の考え方も広まってきている（白書）。

注記 最近目にする機会の増えてきている語であり，これまでの日本の社会福祉が，特別な人に援助を行う方向をもつものだったので，この概念が普及すれば，日本人の社会福祉に対する考え方が，変わる可能性がある。障害者に対していう場合のほか，高齢者などを含める場合もあるので，文脈に応じて，適切な説明を付与することなどが望まれる。適切な言い換え語を工夫できればよいが，言い換え語が工夫できない現段階では説明を付与しながら，この概念を普及させていくことが重要である。

他に，「インフォームド・コンセント」「セカンドオピニオン」「ゼロエミッション」なども，同じような工夫が必要な言葉である。

(4) 専門的な概念を伝える場合は説明を付ける工夫を

特定の分野で専門的に用いられる外来語については、言い換えることで、概念があいまいになったり混乱が生じるおそれもある。専門性をおびる外来語を、一般向けに用いる場合は、説明を付与するなどの工夫がほしい。

例：キャピタルゲイン

意味 資産の売却や値上がりによってもたらされる収益。

言い換え語例 資産収益。資産益。

説明付与例 キャピタルゲイン(資産売却益)。キャピタルゲイン(資産値上がり益)。キャピタルゲイン(資産の売却や値上がりによる収益)。

用例 株式公開やM & Aによるキャピタルゲインといった資金調達の仕組みが、(白書)

注記 資産を売却した利益をいう場合と、資産の値上がりによる利益をいう場合との二種がある。専門的な経済用語であり、「キャピタル」が「資本」であることも、一般には分かりにくい。説明を付与するか「資産収益」「資産益」などで言い換えることが望ましい。

他に、「コンソーシアム」「モラトリアム」「ハーモナイゼーション」などが、同じような問題を抱える語である。

委員名簿

委員長 甲 斐 睦 朗（国立国語研究所長）
副委員長 水 谷 修（名古屋外国語大学学長）
副委員長 中 西 進（帝塚山学院学院長）
相 澤 正 夫（国立国語研究所研究開発部門長）
阿 辻 哲 次（京都大学教授）
加 藤 安 彦（国立国語研究所研究開発部門第一領域長）
倉 島 節 尚（大正大学教授）
神 津 十 月（作家）
古 賀 節 子（青山学院大学名誉教授）
輿 水 優（日本大学教授）
小 森 政 道（小学館コミュニケーション編集局次長）
柴 田 実（NHK 放送文化研究所用語研究班主任研究員・解説委員）
陣 内 正 敬（関西学院大学教授）
関 根 健 一（読売新聞校閲部次長）
田 中 牧 郎（国立国語研究所研究開発部門第一領域主任研究員）
鳥 飼 玖美子（立教大学教授）
中 山 惠利子（阪南大学助教授）
長谷川 真理子（早稲田大学政経学部教授）
福 田 亮（朝日新聞校閲部用語幹事補佐）
松 岡 和 子（翻訳家）